



平成 24 年 10 月 31 日

各 位

東京都港区芝大門一丁目 16 番 3 号
株式会社インフォマート
代表取締役社長 村上 勝照
(コード番号：2492 東証マザーズ)
問い合わせ先 常務取締役 管理本部長
藤田 尚武
電話 (03)5777-1710

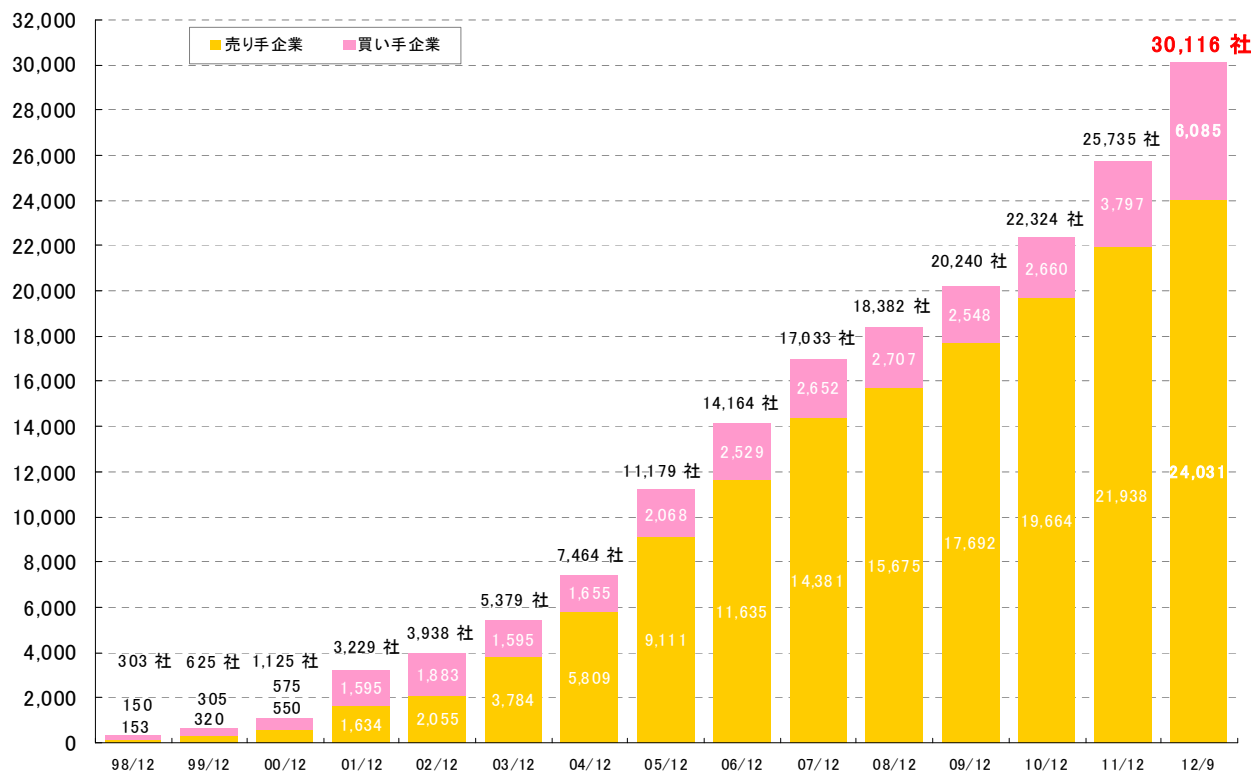
「FOODS Info Mart」 利用企業数 3 万社 (9 万 ID) 到達のお知らせ

当社が運営しておりますフード業界企業間電子商取引 (BtoB) プラットフォーム「FOODS Info Mart (フーズインフォマート)」の利用企業数が 2012 年 9 月末に 3 万社 (9 万 ID) に到達いたしました。その内容に関し、下記のとおりお知らせいたします。

記

■FOODS Info Mart 利用企業数の推移

[単位: 社]



(注) 「FOODS Info Mart」 利用企業数は、各事業部のシステムにて重複する利用企業数を差し引いた正味の全体企業数です。

1. 「FOODS Info Mart」の利用企業数の経緯

当社は1998年創業時より、フード業界企業間電子商取引（BtoB）プラットフォーム「FOODS Info Mart（フーズインフォーマート）」を運営しております。「FOODS Info Mart」は業務効率化とコスト削減に特化し、常にバージョンアップし続けることで各サービスは高い支持と評価をいただいております。また、ASP（クラウド）型サービスのため、月々のシステム利用料が低価格で導入いただきやすいことも大きな特徴となっており、利用企業数は順調に推移し続けております。

売り手企業（食品卸・食品メーカー・生産者など）：24,031 社
買い手企業（外食・給食・ホテル・スーパー・小売など）：6,085 社
売り手・買い手企業 ID 数：90,266 ID(事業所単位) **合計：30,116 社**

2. 今後の見通し

当社では2012年2月14日に発表いたしました中期経営計画において2014年度の「FOODS Info Mart」の利用企業数を36,000社以上、システム取引高1兆円を目標にしております。消費者の様々なニーズを受け、差別化や中食需要の獲得競争などフード業界再編が加速する中で、当社は現在まで培ってきた企業間電子商取引（BtoB）プラットフォームによる事業ノウハウと、最新のテクノロジーによる「次世代プラットフォーム」によって、フード業界全体の業務効率化と活性化に貢献すべく、今後も事業を推進してまいります。

■参考：「FOODS Info Mart」15年の軌跡

1998年2月 売り手企業と買い手企業の出会い（マッチング）を目的とした「eマーケットプレイス（現：ASP商談システム）」をオープンしました。初年度ながら利用企業数が300社を越えるなど、当時のニーズを反映したサービスであったことから注目を集めました。

2003年2月 外食チェーン店と取引先である食品卸・食品メーカー間の受発注業務の煩雑さとコスト削減を目的とした「ASP受発注システム」のサービスを開始しました。「eマーケットプレイス（現：ASP商談システム）」で培った決済代行システムのWeb発注機能を基盤とし、日々の業務に根ざした新しいサービスモデルの構築に成功しました。

2005年4月 食品の安全に関する事件や事故が多発した背景を受け、商品情報を記載した商品規格書の重要性が高まり、「FOODS信頼ネット（現：ASP規格書システム）」を開始しました。「食の安全・安心」という消費者からも注目度の高いサービスとして普及し続けています。

2009年11月 ASP受発注システムによって外食チェーン店との受注業務の煩雑さの解消・コスト削減の効果を実感された食品卸より、個店など小規模の飲食店へ向けた同様のサービスを望む声を多くいただいたことから「ASP受注・営業システム」を開始しました。

2012年9月 利用企業数3万社、9万IDを突破。顧客ニーズの変化へ柔軟に対応するために必要となる機能・サービスのバージョンアップを続けることで、日常業務に欠かせないシステムとして多くの支持をいただいたとともにフード業界のIT化促進に貢献することができました。

以上